

年 組 名 前 :



と ② で真実に迫る

科捜研(科学捜査研究所)は各都道府県警(東京都警視庁)に設置されており、山梨県の場合は県警刑事部に属して、所長ら警察官の他に、研究員が約20人在籍しています。ドラマなどでよく見る白衣を着ている人々です。警察職員としてそれぞれグループに分かれて鑑定しており、法医、化学、物理、文書、心理の計5係があります。

たとえば、法医係は遺伝子などを含むDNA、化学係は薬物、物理係は火災原因や事故原因、文書と心理の両係は筆跡やポリグラフ(呼吸や心拍の測定)などの各鑑定を担当しています。



科捜研の事務室の入り口。「部外者無断立ち入り禁止」の張り紙は、捜査上秘密にしなければならない証拠などを取り扱っていることを意味します

DNA鑑定とは、事件現場に残された毛髪や血液、体液などから専用の機械を使ってDNAの型を調べ、誰のものなのか特定するものです。また、物理係で行う画像鑑定では、防犯カメラやドライブレコーダーの映像や画像を鮮明化し、車に取り付けられたナンバープレートを判読するなどしています。

科捜研で仕事をして3年目になるという水上真史さん(28)は化学係に所属。大学では薬学部で学び、薬剤師の免許を持っています。覚醒剤や大麻など、禁止薬物に関する鑑定を行うことが多いといいます。一方で、薬物に限らず繊維に関する鑑定など対象は幅広く、「鑑定するものによって使用する機械も分析方法も全く違う。常に新しいことを学びながら犯人特定のための手掛かりを見つけて出し、容疑の立証に貢献できます」とやりがいを感じています。

各都道府県警の上部組織である警察庁には、科捜研の上部組織に当たる科警研(科学警察研究所、千葉)があります。山梨県警科捜研の岩下友安副所長によると、特に



「科捜研の仕事は、知識と技術によって真実を確かめること」と話す岩下友安副所長。子ども時代から理科に興味を持って幅広く勉強してほしいと言います。川いずれも語吹市石和町窪中島

高度な鑑定が必要な場合には科警研に相談することもあるそうです。また、職員は科警研で研修するなどして、常に最新の鑑定方法を学んでいます。

科捜研の仕事について、岩下副所長は「知識と技術によって真実を確かめること」と説明。「鑑定によって事件を解決につなげ、県民の安心安全を守る。この一言に尽きます」と話しています。

〈磯村遼平〉

(2021年12月23日付 山梨日日新聞 週刊ぴっと2面)

問1 各都道府県の警察に設置されている科学捜査研究所(科捜研)には、5つの係があります。それぞれ何を鑑定するのが仕事か、書いてください。

- ・法医 →「」
- ・化学 →「」
- ・物理 →「」
- ・文書と心理 →「」

問2 見出しの①、②に入る言葉(2文字)は何ですか。

『 ① と ② で真実に迫る 』

問3 あなたは、科捜研の仕事(鑑定)がなぜ大切だと思いますか。いくつか挙げてください。

.....

.....